



■キャリア教育とは
さまざまなキャリア(経験)を持った大人と触れ合い、学びの意欲を育てて、自ら生き抜く力を身に付けるための教育。

2 たわらや酒店の宇野功一さんは「働く」とは、周りを楽にさせること、受けた恩は他の人に送り、互いに支え合うことが大切だと優しく語りかけていました。3 休憩中に講師と話す生徒。4 講話が終わると感想を書きます。5 池内奈美さんが持参した水球のボールを初めて触る生徒。6 話を聞く生徒の表情は真剣そのもの。

いろいろな経験をしたことが次につながることで、なりた自分の姿を思い描き、チャレンジすること。生徒は、その大切さを具体的なエピソードから学んでいました。

講師の一人、池内奈美さんは、ながみねファミリーYMC Aで水泳を教えています。今は障がいのある子や赤ちゃんに水泳を教えたり、学校で水球を教えたりと活動の場を広げています。経歴や仕事にかける思い、目標を話した後、生徒にエールを送りました。「今は自分がやりたいと思っことは全部やっています。チャレンジして失敗しても次に生かせばいいんです。何かを頑張ったことは、後から全て生きてきます」

講師の職業は、警察官や看護師、理学療法士、フラワー装飾、弁護士、消防署職員、自衛官、パイロット、役場職員、料理人などさまざまです。生徒はメモを取りながら講師の話熱心に聞いていました。

頑張ったことは後から全て生きてくる



3年生
たけうち りん
武内 琳さん

保育士になることが夢です。皆さんたくさんの経験を経て、今の仕事を頑張っていることが分かりました。大人ってかっこいいなと思いました。これからいろいろ勉強して私も社会に貢献できる人になりたいです。



1年生
おだはら ゆうた
小田原 悠太さん

職業パンフレットを見るより働く人でないと分からない仕事の大変さなどの体験談を詳しく聞けて将来のことを身近に感じました。家では急げがちですが、たくさん勉強して選択肢を増やしていきたいと思いました。



3年生
いしざか ゆう
石坂 優侑さん

「チャレンジしていくと夢もみつかる」という言葉に感銘を受けました。今まで全てのことに恐れて、失敗することが怖かったけれど、話を聞いて「挑戦していきたい!」と思いました。目の前のことを一歩一歩頑張ります。

笑顔を決めないという言葉がすごいと思った

感謝されるって素晴らしい

最後まで真剣にやり続けないと結果はついてこない

自信を持ってやりたいことに何にでも挑戦したい

無駄なことなんて何一つない

目標に向かって努力したい

誰かを笑顔にできる仕事を見つけた



1 顔合わせをする全校生徒約500人と講師32人。生徒は教室に移動し、3人の講師から話を聞きます。文章は、講話を聞いて心に残ったこと、自分と重ねて考えたことなど、講師へ宛てたお礼の手紙の一部を抜粋しています。

特集

素敵な大人になるために

菊陽中学校で9月9日、キャリア教育の一環として「校内ハローワーク」が行われました。

県内初の取り組みで、ことしで2回目になります。生徒は働く大人から何を学び、何を考えたのでしょうか。

生き抜く力を育てる

自分の将来や人生を考えたキャリア教育。

菊陽中学校では「校内ハローワーク」と題して、町内で働く社会人や教員の知人を講師に迎えています。

ことは講師32人が仕事内容やこれまでの人生、失敗した経験、うれしかったことなどを講話しました。豊岡秀敏校長は「今、子どもたちが何をすべきか、何に力を入れて頑張るべきか。いろいろな経験談を通して、今の自分を振り返り、夢や目標を持って生き抜く力を育ててほしい」と力を込めます。



2年生
まえやま あやね
前山 絢音さん

ものづくりの技術を人に継承していきたいという大工さんの話を聞きました。幼稚園の先生になったら子どもたちに正しいことを教えてよりよい世の中にしていきたいと思いました。自ら学んで行動する大切さも分かりました。



2年生
こいで かく
小出 楽さん

大工になるという今の夢も、ずっと頑張っていけばなれるんだと気がきました。大人が周りの人や世の中のことを考えていることも分かり、そんな大人になりたいと強く思いました。これから将来について深く考えていきたいです。